



問 女性消防団員の活躍推進について問う

消防団員数の減少が続く中、女性の力を生かす体制整備が急務である。地域での住宅防火診断や応急手当の普及など女性消防団員の役割は大きい。そこで何うが、国の補助金等を活用した入団促進事業の効果と事業の継続についての考えは。また、第26回全国女性消防操法大会に出場し、優秀賞を受賞した女性消防団員の健闘をたたえるとともに、彼女らの訓練と成果について問う。

答 女性消防団員の活動環境を充実させる取り組みを行っている

入団促進事業の効果としては、女性消防団員用の被服の購入や設備の整備により活動環境が充実したほか、大規模な入団促進イベントを通じて、市民の理解がより深まったと考える。市民に消防団の魅力が伝えられるよう工夫を凝らしながら、引き続き、入団促進事業に取り組んでいく。

第26回全国女性消防操法大会に出場した女性消防団員は、仕事を終えた夜間や休日に訓練に取り組み、猛暑の夏も中止することなく訓練をやり遂げた。この並々ならぬ努力があったからこそ、優秀賞の獲得につながったと考えている。

その他の質疑・質問

- 公立幼稚園の在り方について
- こども誰でも通園制度について
- 待機児童問題について
- 久居こどもの遊び場づくり事業について
- 湯の瀬について
- 津市の「これまで」と「これから」について（市長に問う）

女性消防団員の活躍推進を



問 最終処分場の埋め立て期間延長を求める前に地区要望の実現を

平成28年4月に供用開始した津市一般廃棄物最終処分場の整備に当たり美杉町下之川地区から出された25項目の要望のうち、多くが未整備となっている。この状況下において、令和12年度までとしている埋め立て期間を令和38年度まで延長することについて地区へ相談に行っているようであるが、地区の住民が納得できるところまで要望項目の整備を進めた上で相談に行くべきではないか。

答 地区とコミュニケーションを取りながら取り組んでいく

美杉町下之川地区から出された25項目の要望については、地区とコミュニケーションを取り、実現に向けてさまざまな取り組みをしてきたところであるが、現時点において4項目が整備中、12項目が未着手となっているため、未着手の項目については理由を説明した上で、実現が可能であり、かつ地区が現在求めている内容へと更新すべく協議を進めているところである。

今後も地区の意見を聴き、できる・できないを判断しながら、地区からの要望に対して真摯な姿勢で対応し、実現に向けて取り組んでいく。

その他の質疑・質問

- 議案第122号 津市レークサイド君ヶ野の設置及び管理に関する条例の廃止について
- 獣害対策における小動物の駆除について
- 津市の財政状況は

令和7年度で供用開始から10年目を迎えた美杉町下之川の津市一般廃棄物最終処分場

